

2021年12月3日

スズキの大型二輪車「KATANA(カタナ)」の名称が 天竜浜名湖鉄道フルーツパーク駅の副駅名に採用



【フルーツパーク駅に掲出される特別看板(イメージ)】

スズキ株式会社(以下、スズキ)の大型二輪車「KATANA(カタナ)」の名称が、天竜浜名湖鉄道株式会社(以下、天竜浜名湖鉄道)のフルーツパーク駅の副駅名(愛称名)として、2021年12月7日から2024年3月31日まで採用される。

この「フルーツパーク(KATANA)駅」は、天竜浜名湖鉄道による駅名ネーミングライセンス募集に、株式会社スズキ二輪が申し込みを行い、スポンサー契約を締結して実現したものである。フルーツパーク駅は、KATANAユーザー向けのイベント「KATANA Meeting」の開催地である「はままつフルーツパーク時之栖(静岡県浜松市)」の最寄り駅であることから当駅を選択し、今回採用に至った。

「KATANA(カタナ)」は、燃料タンクから車体先端までシャープで流れるような、ひと目で「KATANA」とわかるデザインに、「GSX-R1000」のエンジンをベースとした水冷直列4気筒のパワフルなエンジン、軽量で剛性の高いアルミフレームとアルミスイングアームを採用し、高い基本性能と扱いやすさを両立させた大型二輪車で、2019年5月に国内で発売を開始して以降好評を得ている。

天竜浜名湖鉄道とスズキによるタイアップは、2019年9月より継続しているKATANAラッピング列車の運行に続くものであり、契約期間中、フルーツパーク駅に「KATANA」の副駅名が付くことから、鉄道利用者だけに限らず、広く「KATANA」をアピールすることでブランド力の拡大を図り、新たなファン獲得を目指す。